

八潮高校生が編集しました

はばたけ！ やしおっ子！！ 八潮の子育てインタビュー

八潮の子育て事業をテーマに八条保育所での保育士体験と取材、そして八潮駅高架下にある、やしお子育てほっとステーションへ取材に行きました。

編集 八潮高校 〒340-0802 鶴ヶ曾根650 ☎996-1130

保育士体験

取材がお盆の時期と重なり、利用者がいつもより少なかったものの、子どもたちのいきいきとした姿を見ることができました。

0～2歳児クラス

最初はどのよう接したらいいのか分からず戸惑ってしまうこともありましたが、ボール遊びなどの活動を通して、子どもたち一人ひとり得意・不得意なことに違いがあるとわかり、それぞれの個性を感じることができました。

また、子どもをおんぶする体験もさせてもらいました。体も小さく、体重



もまだまだ軽いですが、温かさや重みをハッキリと感ずることができました。

3～5歳児クラス

始めのあいさつまでは緊張や不安な気持ちもありましたが、教室に入った途端子どもたちが集まって来てくれたおかげで、緊張がほぐれて安心して体験に入ることができました。



給食も一緒に食べました

朝の体操後、子どもたちに紙ひこ

うきを折ってあげると、とてもうれしそうにしていたのが印象的でした。また、折り返し地点に立って応援をしたレース勝負では、負けて悔し泣きしたり、勝って大喜びしたりする子どもたちの姿が見られました。

保育士・栄養士・調理師の皆さんにインタビュー！

Q 子どもに接するときに気をつけていることは何ですか？

A 性格や年齢、一人ひとりの個性に配慮しています。一番成長を見られる時期なので、毎日成長している姿を見ることができてうれしいです。

Q 献立について気をつけていることは何ですか？

A 旬の食材を使い、バランスよく栄養をとれるように献立を決め、子どもの味覚に合わせて薄味で調理しています。

Q 調理について気をつけていることは何ですか？

A 食中毒には特に気をつけていて、果物以外はすべてに火を通してあります。大きかったり長かったりするものについては、細かくして小さい子どもでも食べやすくしています。また、子どもは「苦味」に敏感なので、切り方を変えたり、味つけを工夫しています。

やしお子育てほっとステーション



やしお子育てほっとステーションは、子育てひろばの利用、子育て情報の紹介や子育て家庭を訪問し育児・家事を一緒に行うなど、子育て親子を支援する拠点となっています。

同じような境遇の保護者と子どもが集まるため、子どもと一緒に遊ぶほか、保護者同士の交流ができ、子育ての知識や経験のある職員の方のサポートも受けられます。

施設を利用する保護者の方からは、「子育てには自分だけだとどうしたらいいかわからないことがあるので、相談できる人やサポートしてくれる人がいてすごく助かっている」という声がきかれました。



八潮高校

編集後記

小俣真里亜

初めて大人数の子どもたちと関わり、緊張しました。大変なこともあったけれど、良い経験となりました。

小川瑛志

子どもたちに直にふれあえる機会はありませんが、このような貴重な体験ができてとても良かったです。

工藤竜一

保育体験を通して、その大変さを感じました。一方で、子どもたちと楽しい時間を過ごしながら、大変な分とてもやりがいのある仕事であるということも分かりました。また、体験を通して学んだことから保育士・栄養士・調理師の皆さんへ直接取材し、八潮市の保育事情や大変なこと、気をつけて

いることなどについて聞いて良かったです。

三上彪雅
今回の体験を通して、保育の仕事の大変さや大切さを知ることができました。また、広報紙の編集に関わることにより、編集作業の大変さも知りました。将来子どもに関わる仕事も良いと思えました。



写真右から 小俣真里亜、小川瑛志、工藤竜一、三上彪雅